

研究グループの博士院生（博士課程後期学生）募集案内

	項目	内容
1	研究グループ名	土壌生態学研究グループ
2	教員所属・氏名	環境リスクマネジメント専攻：金子 信博（教授） 環境生命学専攻：中森 泰三（講師）
3	研究内容	土壌の生物多様性と生態系機能（栄養塩循環など）がどのような仕組みで維持されているかを解き明かし、それらの基礎的知見を持続可能な生態系利用や土壌汚染問題の解決に役立てることを目指しています。具体的なテーマは、土壌動物の生態学的特性と生態系機能、土壌動物と微生物の相互作用、土壌生物の多様性と地上生物の多様性の関係、土壌への炭素の取り込み、土壌汚染の生態影響などです。
4	求める人材像	パイオニアとしての野心にあふれた方。主体的に問題解決に取り組める方。
5	研究環境	<ul style="list-style-type: none"> 土壌生物の採取、観察、飼育・培養が可能：ツルグレン装置、光学顕微鏡、デジタルマイクロスコプ、恒温室（地上部と地下部で独立に温度制御が可能）、クリーンベンチ。 土壌および土壌生物の理化学的解析が可能：NC アナライザー、イオンクロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー、オートアナライザー。 核酸（DNA、RNA）の解析が可能：リアルタイム PCR 定量、シーケンズ解析、群集解析（T-RFLP、DGGE）。 JST「環境再生リーダー養成プログラム」では博士後期課程学生の海外調査を支援。 環境情報研究院には本グループの他にも生態学系の教員やポスドク・院生が多数在籍し、高度な研究議論や共同研究が日常的に可能。GCOE プログラム「アジア視点による国際生態リスクマネジメント」が進行中（H23 年度まで）。
6	多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> 一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。 短縮修了：正規には修了に3年間かかりますが、最短で1年間への短縮が可能です。 長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で6年間までの長期履修が認められます。
7	経済的支援	授業料免除、RA（リサーチ・アシスタント）、TA（ティーチング・アシスタント）の制度が充実しています。
8	募集スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年5月24日～5月26日：社会人特別選抜出願資格書類提出期間 平成22年6月21日～6月24日：出願期間 <p>詳しい内容は下記の大学HPを参照ください http://www.eis.ynu.ac.jp/entrance_frame.htm</p>
9	問い合わせ・連絡先	金子信博、メール：kanekono@ynu.ac.jp；中森泰三、メール：taizo@ynu.ac.jp